



～文化の秋、海外事業を語る@NHK～

作成：上下水道局海外事業課 発行日：令和2年11月4日



上下水道局海外事業課は、アジア地域への海外出張が多い部署ですが、関係機関との協議や、北九州市のPRのために国内を飛び回ること多々あります。この度、**東京・渋谷にあるNHK放送センターをインタビュー収録**のために訪問しました。海外事業課2年目の大島が報告します！



NHK放送センター（東京都渋谷区）

秋晴れの10月5日(月)、初めてNHK放送センターを訪問しました。職員の方でここを訪問したことがある人は少ないのではないのでしょうか？

今回伺ったのは、NHK・Eテレで小学校6年生向けの社会科教育番組「社会にドキリ」のセクションです。目に見えづらい政治や社会の仕組みをわかりやすく伝え、子どもたちが、社会の仕組みを主体的に考え、積極的に関わろうとする心を育むことを目的としている番組です。

今回の依頼は、今年度の最終回の「世界の人々と共に生きる」という回の中で、SDGsの取組の好事例として北九州市の「環境未来都市の取組」の一つである**上下水道の海外事業の取組**を紹介して欲しいということでした。



インタビュー・リハーサル
普段の出前講演とは勝手が違うので、
少し緊張します

インタビュー取材を受けたのは海外事業課の廣渡係長です。廣渡係長は職員時代から海外経験が豊富で長くカンボジアへの国際協力に携わって活躍されており、カンボジアの言語であるクメール語も使いこなします。

インタビューのテーマである北九州市の環境未来都市の取組について、廣渡係長の**海外での実体験やエピソード**を、小学生にも理解できるようにわかりやすく紹介しました。30分くらいのインタビューでしたが、**国際貢献の意義や海外での活動に対する心構え**などが聞けて、私にとっても非常に勉強になるものでした。

このインタビューの様子は、令和3年3月上旬に**全国放送**されます。放送日が近づいてきましたら、改めてインフォメーションでご案内しますので、ぜひご覧ください！

報告者：上下水道局 海外事業課 主査 大島 佳希

今回、訪問して驚いたのは、NHKの人の出入りの多さです。約1万人が働いているとのことですが、入館時のサーモグラフィーによる検温が徹底されていました。芸人でも例外はなく、発熱が確認されるとたとえ主役の演者であっても撮影を中止するとのことでした。



カンボジアへの短期専門家派遣時の定宿のホテルにて
(本市派遣の専門家3名とホテルスタッフ。右から2番目が報告者)